

第66回静岡県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

決勝リーグ

試合日	2018年6月3日
会場	エコパアリーナ
コート	A コート
開始時間	11:40

TEAM A		TEAM B
飛龍 (東部)	69	70 浜松開誠館 (西部)
	21 - 23	
	8 - 18	
	21 - 12	
	19 - 17	
	OT	

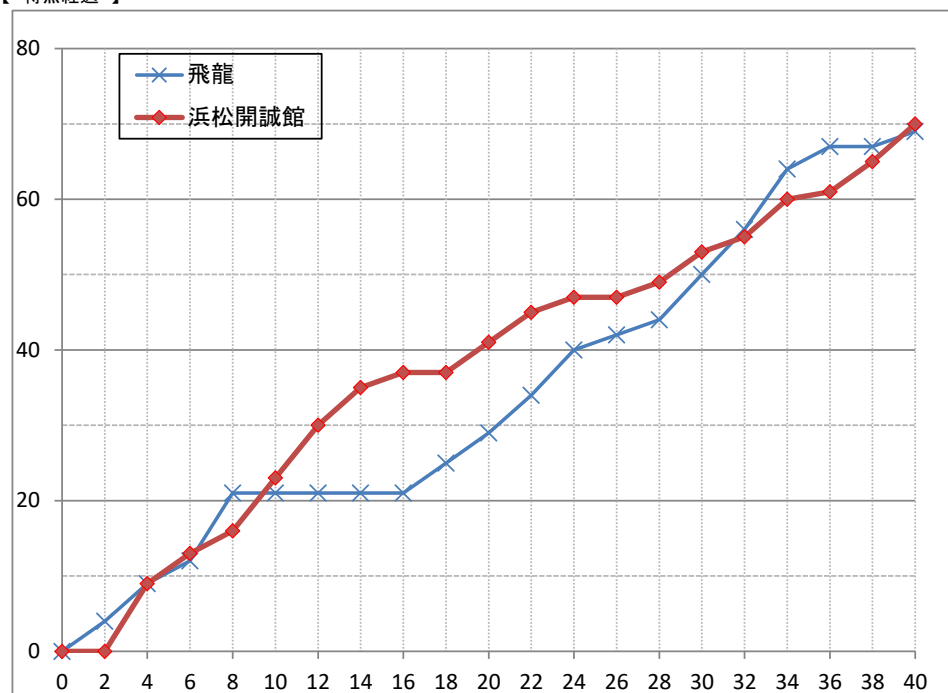
TEAM A 飛龍 (東部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		西尾 昂也	0				
5	*	杉山 裕介	6		2	2	4
6	DNP	大武 海斗	0				
7	*	保坂 晃毅	0				1
8		原 千毅	7		3	1	4
9	*	関屋 心	26	1	9	5	4
10	*	古大内 雄梨	9	3			3
11	DNP	藤村 夏生	0				
12	DNP	鳥見 勇敬	0				
13	DNP	遠藤 歩夢	0				
14	DNP	三橋 翔	0				
15	*	リュウ ヤハオ	6		3		
16		色山 輝	15	5			3
17	DNP	原田 未央	0				
18		高須 崇介	0				3
19	DNP	本橋 献人	0				
20	DNP	大塚 惟央	0				
21	DNP	杉本 敬太郎	0				
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			69	9	17	8	22

TEAM B 浜松開誠館 (西部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	神田 誠仁	18		6	6	2
5	*	田中 勇樹	14		5	4	2
6	*	佐原 和樹	18	2	6		
7		菅沼 英一	0				3
8	DNP	鈴木 利尚	0				
9	DNP	新里 翔	0				
10	*	山本 啓太	0				
11		曾田 翔己	0				2
12	DNP	木村 駿太	0				
13	DNP	田中 駿	0				
14	DNP	飯島 友汰	0				
15		川嶋 耕平	8	2	1		1
16	DNP	池谷 愛斗	0				
17	*	今井田 大輝	12	4			4
18	DNP	二村 遥	0				
19	DNP	岡龍之介	0				
20	DNP	山口 慶悟	0				
21	DNP	山村 宙	0				
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			70	8	18	10	14

【得点経過】



【戦評】

1PD インターハイをかけた両者負けられない戦いがスタート。飛龍は⑨関屋がドライブから連続得点、⑩古大内の3Pでリズムよく得点していく。開誠館は、ボールを動かしながら、⑩が3Pを決めるもなかなかリズムにのれない。その中でもマンツーマンやゾーンでゆさぶる。一方飛龍は、ボールを動かしながら、毎所で⑨関屋や⑯色山の3P、⑮リュウのドライブで加点しリードを広げるが、開誠館④神田が連続得点、さらに終了間際に⑥佐原の3Pで連点し、21-23とした。

2PD 開始早々開誠館⑥佐原のジャンプシュート、⑦今井の2本の3P、さらに⑥佐原の3Pシュートがテンポよく決まり、21-34とリードする。飛龍は、7分間得点できず、⑨関屋がようやく得点するが後が続かない。苦しい展開の中、⑨関屋がドライブやジャンプシュートで、一人気を吐いた。一方開誠館もがまんの間が続き、29-41で開誠館リードで後半へ。

3PD 突き離しにかかりたい開誠館は④神田が連続ドライブ、⑤田中もドライブを仕掛け得点する。飛龍も、⑮リュウの合わせや、⑯色山の速攻などが続き、追いかける。開誠館はゾーンディフェンスを入れながら、相手の足を止めようとするが、逆に飛龍がゾーンを崩し、得点をしていく。ボール回りがよくなった飛龍は、崩した中で⑯色山の3Pが決まり、一気に5点まで縮め50-53で4Qへ。

4PD 3Pの勢いの続く飛龍が⑤杉山や⑨関屋、⑧原のシュート。⑯色山が3P決め、一気に逆点し、7点リード。ここでたまたま開誠館がタイムアウト。タイムアウト直後開誠館⑮川嶋が2本の3Pを決めるも、飛龍⑯色山もゆずらない。互角の戦いが続く中、開誠館④神田が仕掛け、ファウルをもらい、2本きっちり決め、残り1分30秒同点に。続く開誠館のオフェンスで、ドライブから⑥佐原が3Pを決め逆点ここで飛龍タイムアウト。残り55秒とし、⑨関屋が仕掛け得点し、1点差に。続く開誠館のオフェンスが決まらず、飛龍の速攻と思われたが、痛恨のターンオーバー。ファウルゲームにするも、追いつけず、69-70で開誠館が勝利した。

戦評(文責)	石谷 優二(小笠高校)	記入者	平野 道子(袋井商業高校)
--------	-------------	-----	---------------